

応える、超える。



WDBホールディングス株式会社

2025年3月期1Q 決算説明資料

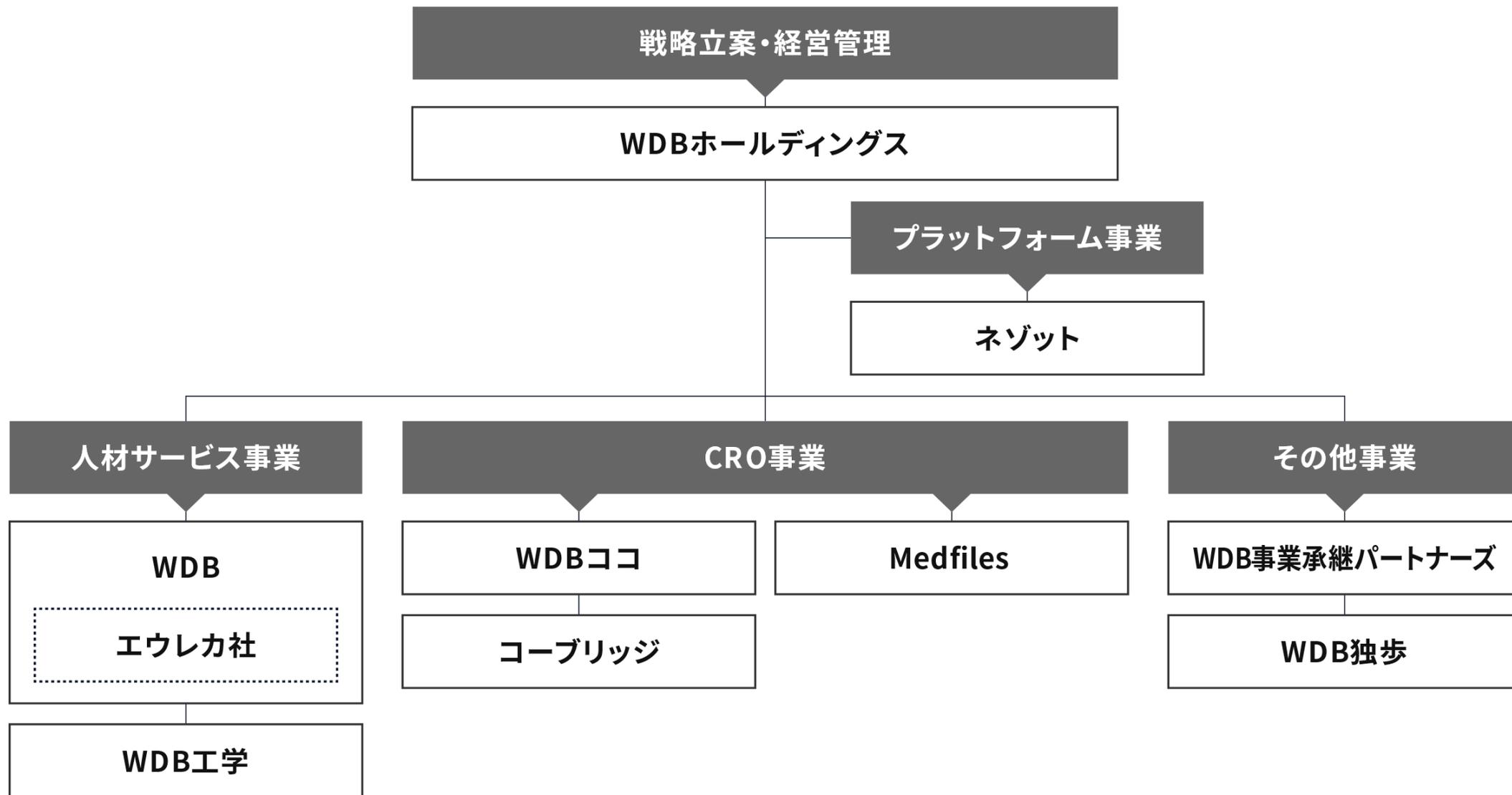
最も報酬が高く、注文に応えられる派遣会社を目指して

会社概要 (2024年8月現在)

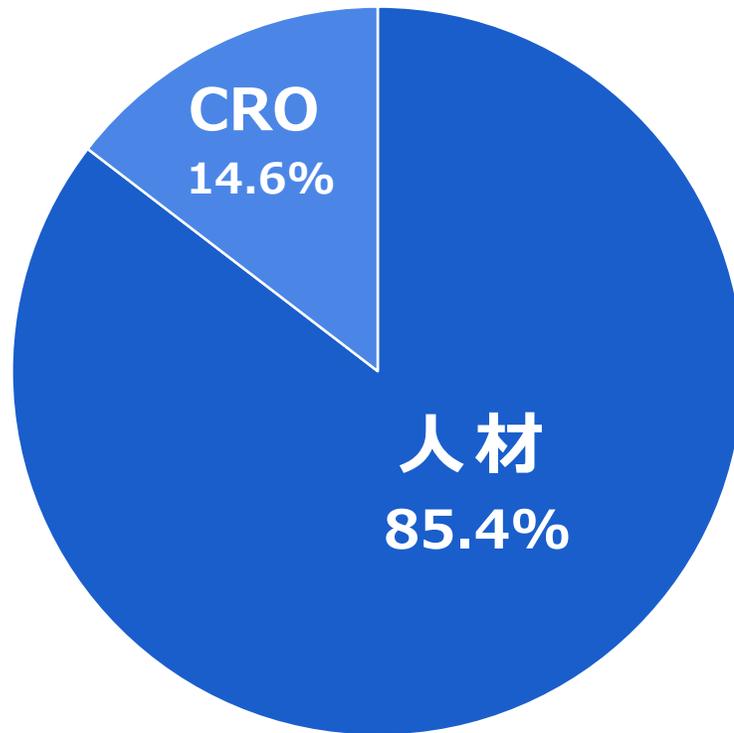


社名	WDBホールディングス株式会社
設立	1985年（昭和60年）7月6日
資本金	10億円
上場市場	東証プライム市場（証券コード:2475）
代表者	代表取締役社長 中野敏光
本社	兵庫県姫路市豊沢町79番地
社員数	983名（派遣社員他 10,412名）
売上高	492億円（2024年3月期 連結）
経常利益	55億円（2024年3月期 連結）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 理学系分野を中心とした人材サービス事業・ CRO事業・ プラットフォーム、その他の事業

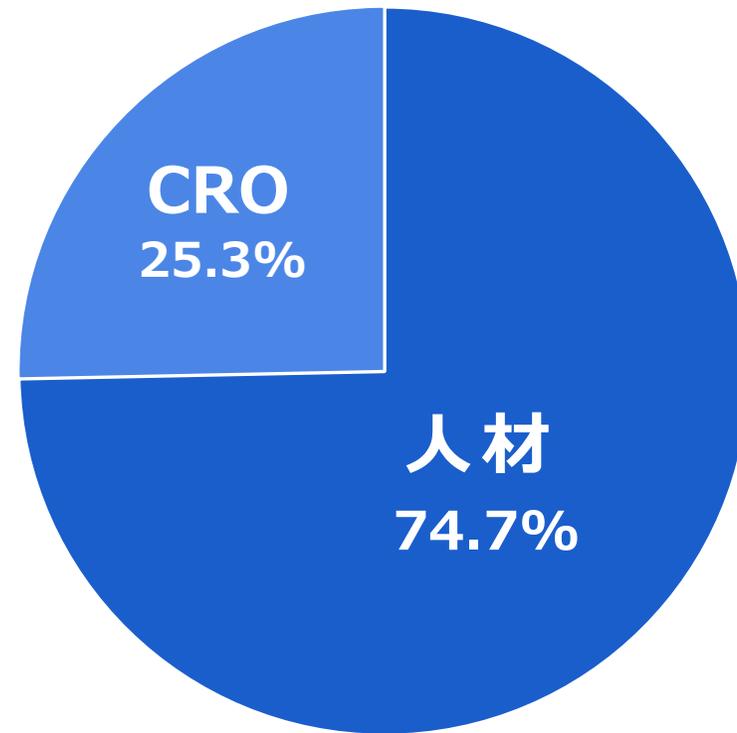


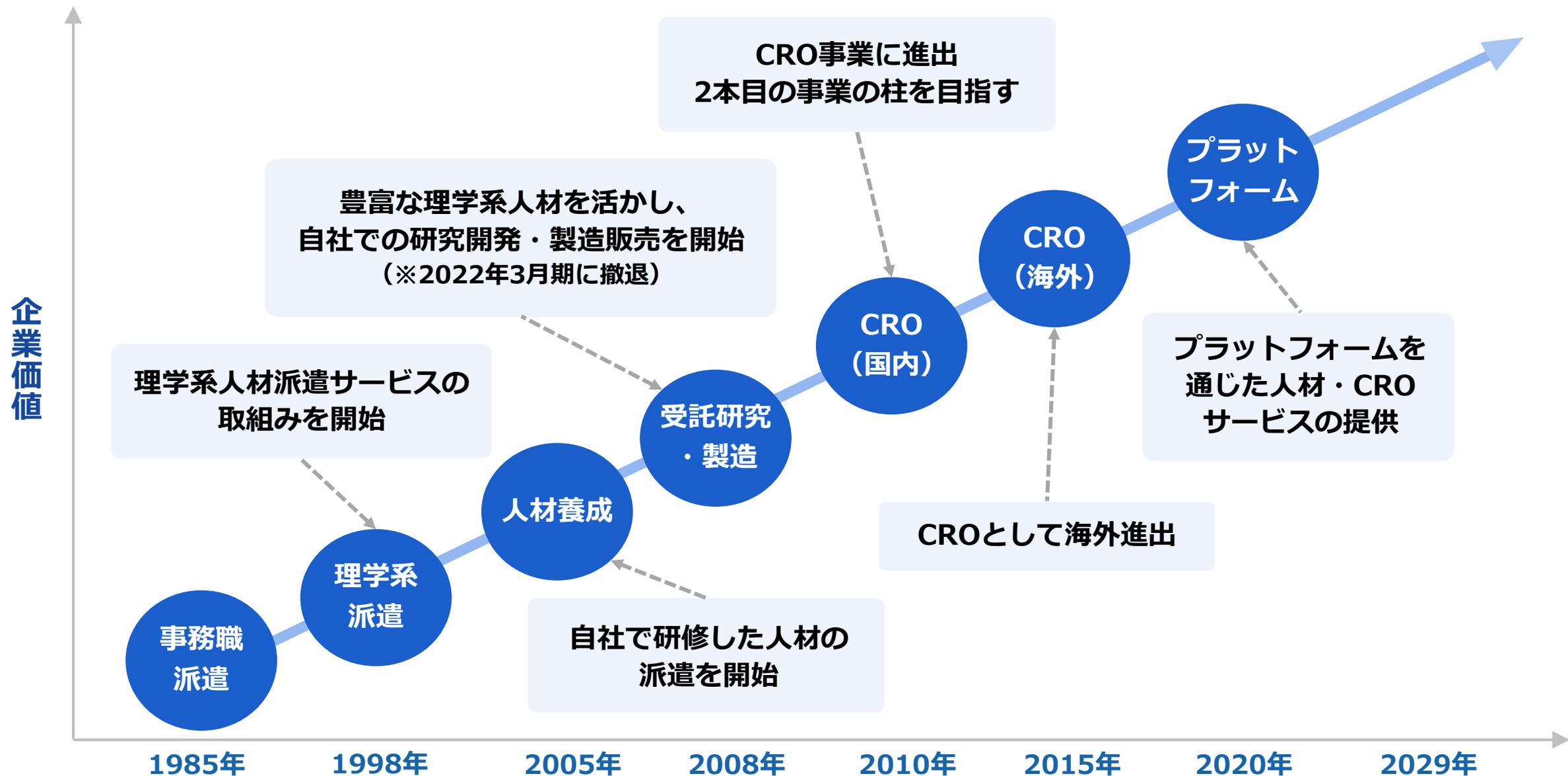


売上高構成比

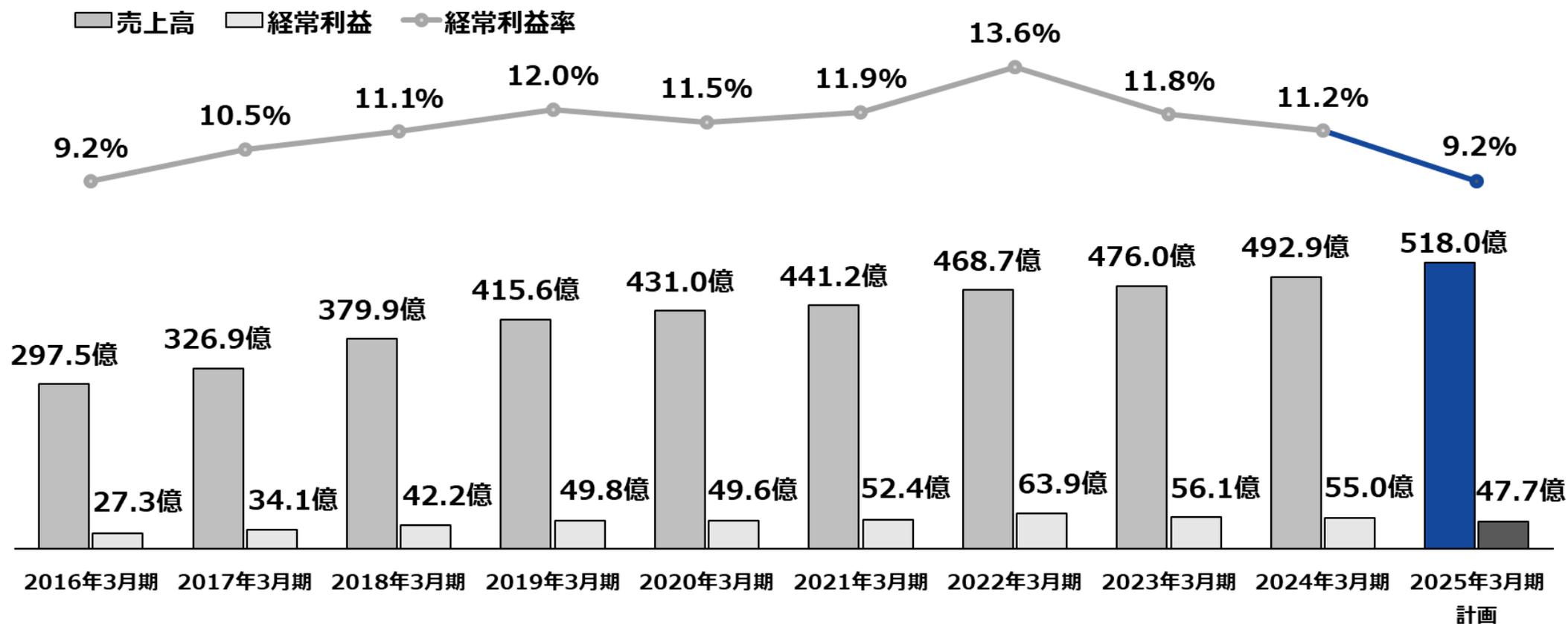


セグメント利益構成比



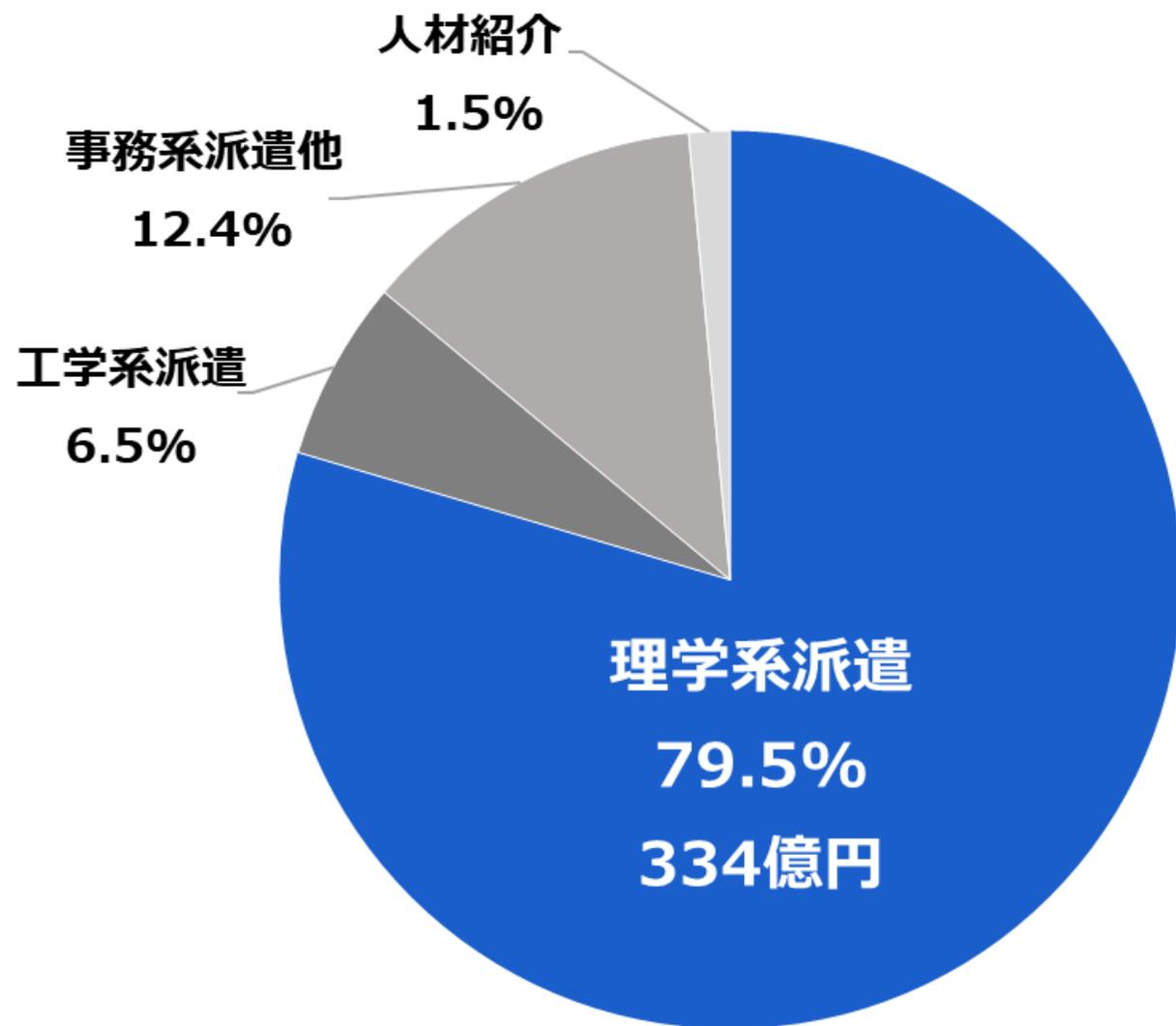


過去10年、増収を続けております。また、2023年3月期以降は、
 経常利益が伸びておりませんが、これは将来にわたる継続的な成長に向け、
 派遣スタッフの報酬アップに取り組んでいるためです。



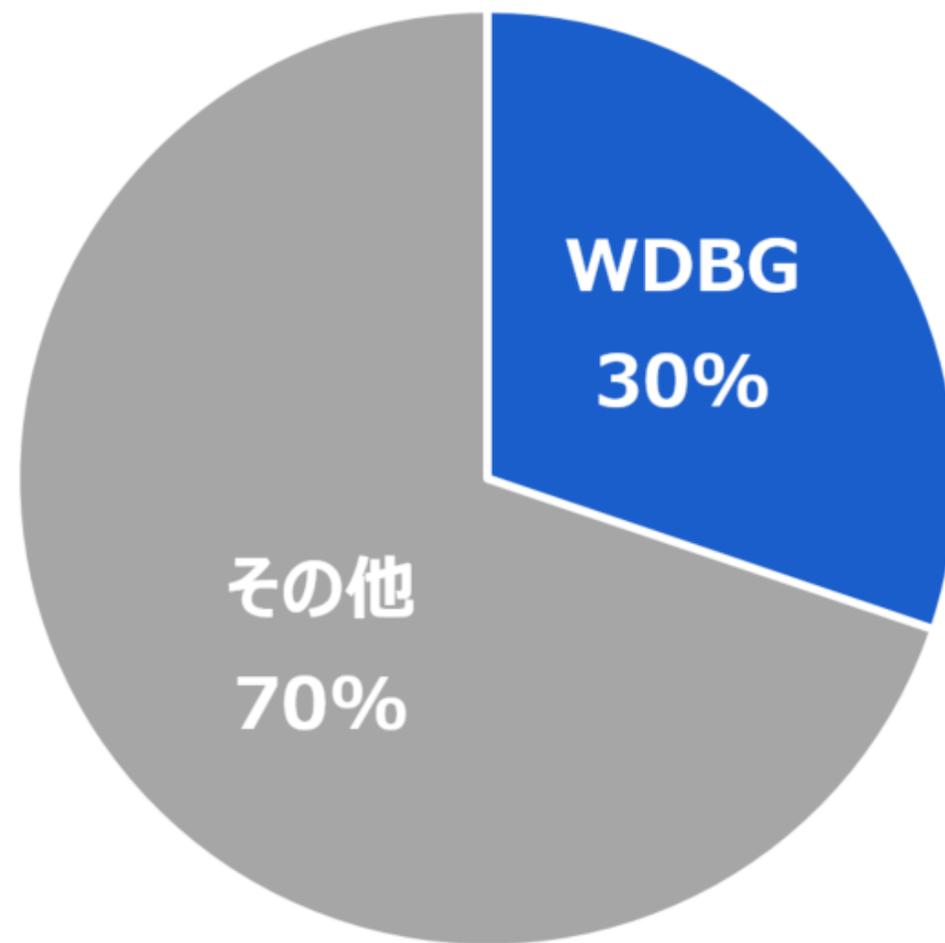
人材サービス（人材派遣）事業について

当社の人材サービス事業は
理学系派遣の分野に特化しており、
人材事業の売上の約8割を占めています。



**理学系派遣市場（約1,100億）のうち、
3割を当社が占めており、シェアNo.1です。**

※理学系派遣市場規模は当社推定



理学とは、化学およびバイオテクノロジーの分野を指します。
当社は、理学系分野の研究者、研究補助者、技能者を派遣しています。

理学系人材の例

- ・ 遺伝子を組み替えることができる人材
- ・ 動物を解剖できる人材
- ・ PCR検査の技術を持つ人材
- ・ 化学分析の経験者など

主な派遣依頼

- ・ 民間企業、大学、公的機関の研究室における、研究補助業務
- ・ 民間企業の工場における、品質管理業務



顕微鏡による観察



ピペットによる試薬注入

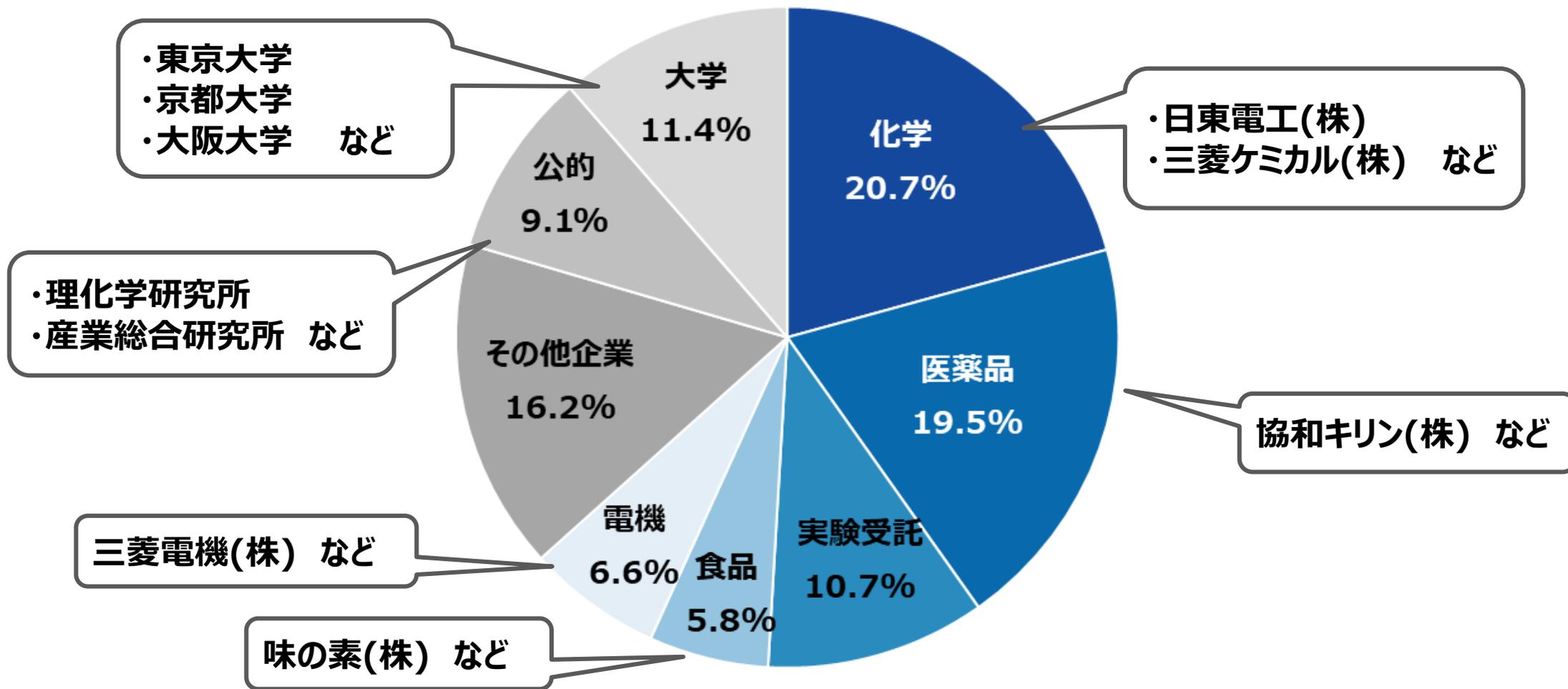


エバポレーターによる試薬濃縮



HPLCによる成分分析

大手化学、医薬品、食品メーカーおよび公的研究所、大学の大半と取引があります。
幅広い業界との取引があり、景気動向の影響は比較的受けにくい顧客構成です。



強い人材調達力を支える3つの要素

- 1. 技術研修によるスタッフの養成**
全国の研修所で、必要な実験技術を求職者に教え、派遣することができます。
- 2. 理学系派遣会社としての知名度**
理学系技術者の間で、全国的に高い知名度があります。
- 3. 登録型派遣、正社員型派遣の両方を扱っていること**
片方のみに特化している他社に比べ、より多くの求職者にアプローチできます。

高い顧客・スタッフ満足度を保つ2つの仕組み

1. 登録時の実技試験とフォロー

求職者に対し、1日かけて実技試験を実施し、合格した人材のみを派遣しています。

顧客と派遣社員に対する定期的な面談と、問題があればいつでも当社担当に相談できるシステム上の仕組みを通じて、安定して就業継続できる体制を持っています。

2. プラットフォームを通じたサービスの提供

利便性の高いシステムを通じ、サービスを提供しています（詳細後述）。

今まで、人を介して行っていたサービスの利便性を高め、可視化する仕組みを、当社では、「プラットフォーム」と呼んでいます。

「プラットフォームにより、業務が効率化・自動化・可視化され、顧客は24時間365日、当社のサービスを受けられるようになり、サービスの進捗状況を、リアルタイムで確認できるようにする」という基本コンセプトのもと、各プラットフォームの開発を行っています。

人材サービスプラットフォーム「doconico（ドコニコ）」は、2021年4月にリリースし、改良を重ねながら利用しております。

また、CROサービスに関するプラットフォームも、2024年3月期にリリースし、運用を開始しています。

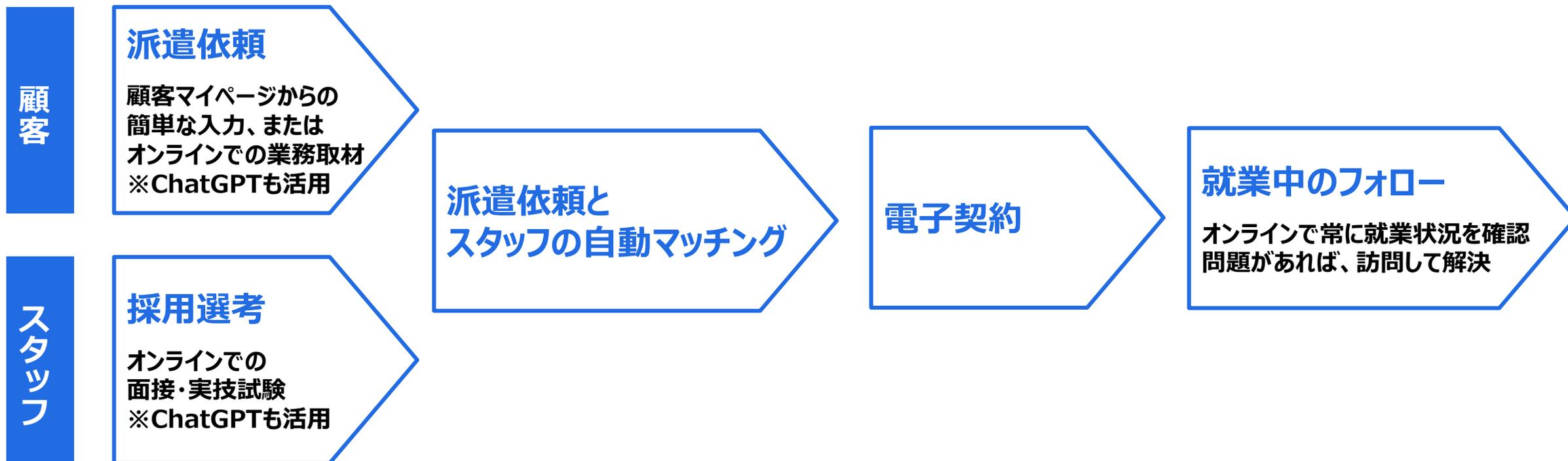
人材派遣の依頼・手続き・管理をWebで完結。

様々な労務手続き・書類のペーパーレス化や
効率化はもちろん、派遣スタッフ情報の一元管理も可能です。

また、関係者間の情報共有もスムーズになり、
業務を効率化できます。



従来、当社の担当者を介して提供していた派遣サービスのほとんどの部分を、担当者を介さず、オンラインで提供する仕組みです。



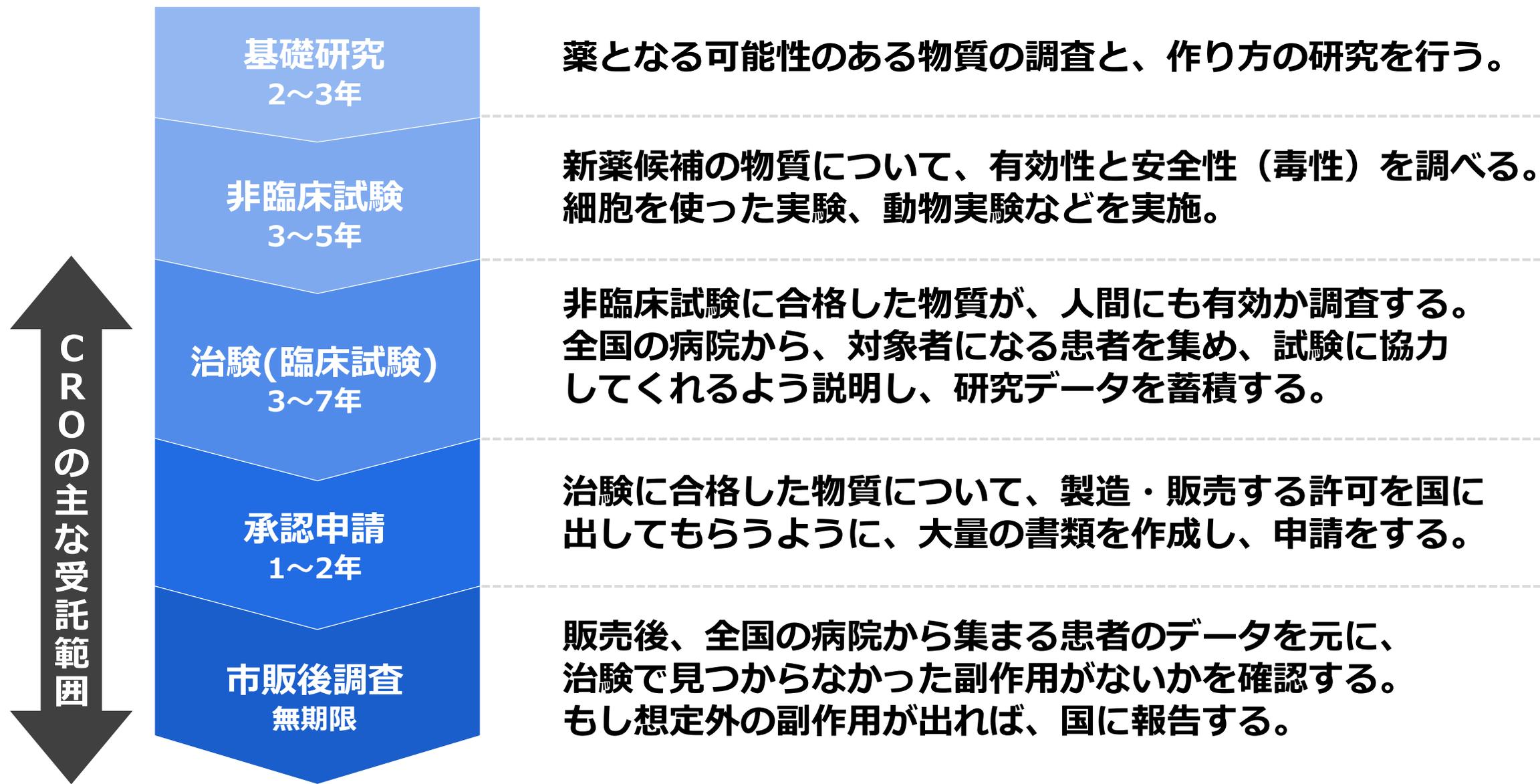
CRO事業について

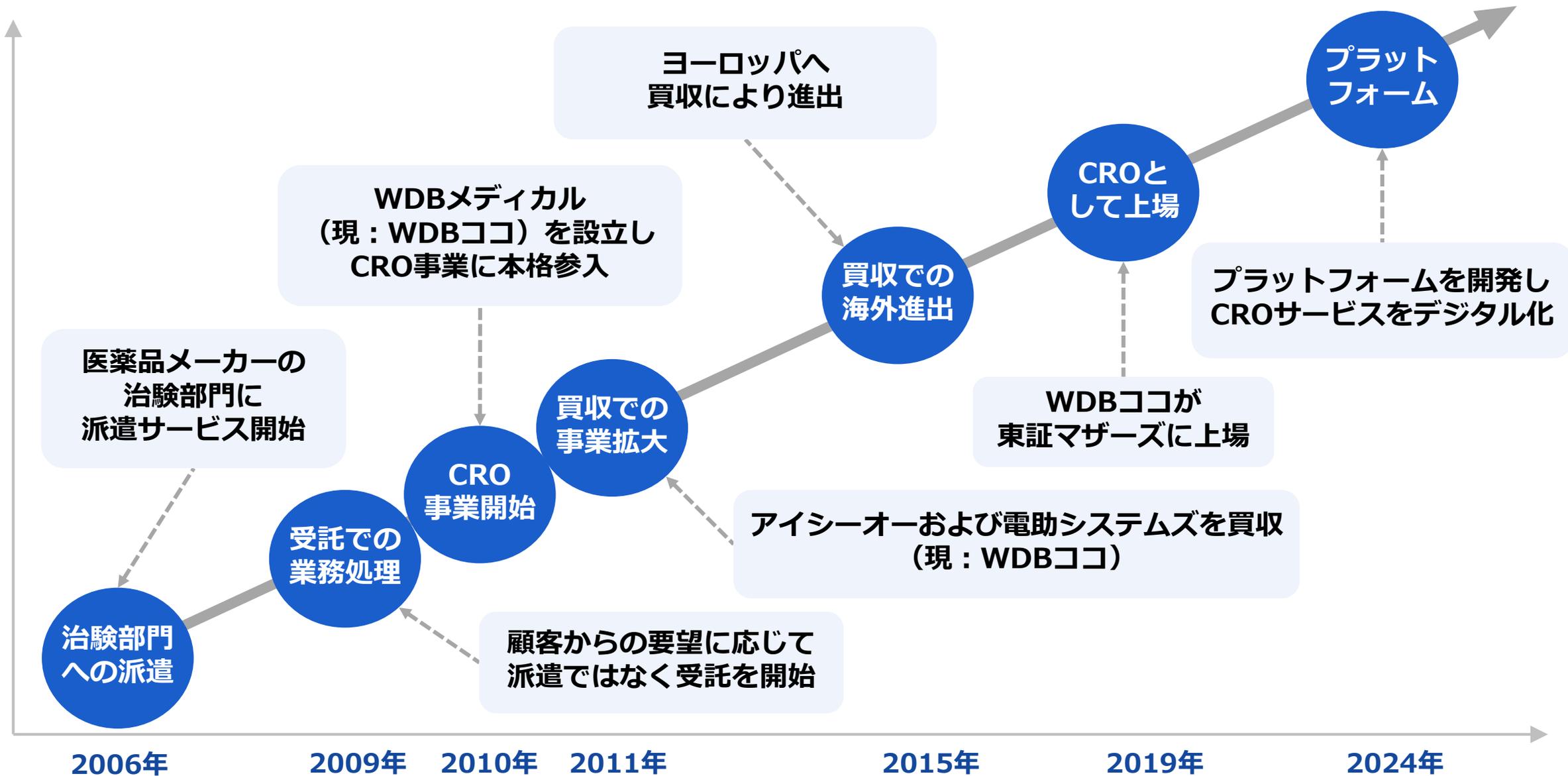
**CROとは、医薬品メーカーが行う薬の開発を支援する企業です。
(Contract Research Organization : 医薬品開発業務 受託機関)**

**医薬品メーカーが新しい医薬品を開発し、発売するためには、
10年~20年の時間と、500億円の費用がかかると言われています。**

**そのため、医薬品メーカーは、研究員が研究に集中できるよう、
医薬品開発に関する様々な業務を、CROに外注します。**

**具体的に、どのような業務をCROが請け負うか、
次のページでご説明いたします。**





日本

WDBココ

- ・ 安全性評価業務
- ・ ドキュメントサポート
- ・ DM・統計解析
- ・ 臨床研究支援

コーブリッジ

- ・ 医療機器の薬事申請支援

ヨーロッパ

MEDFILES

- ・ ラボラトリーサービス
- ・ 安全性評価業務
- ・ 治験、DM・統計解析
- ・ 薬事申請関連業務

2025年3月期 1Q実績

1Q業績	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2024年3月期-2025年3月期	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	118.6億	100.0%	124.6億	100.0%	128.9億	100.0%	4.2億	3.4%
原価	87.9億	74.2%	95.1億	76.3%	98.9億	76.7%	3.8億	4.0%
売上総利益	30.6億	25.8%	29.5億	23.7%	30.0億	23.3%	0.4億	1.5%
販管費	16.3億	13.8%	16.6億	13.4%	16.8億	13.0%	0.1億	0.8%
営業利益	14.2億	12.0%	12.8億	10.3%	13.2億	10.2%	0.3億	2.5%
経常利益	14.3億	12.1%	13.0億	10.5%	13.2億	10.3%	0.2億	1.8%
純利益	8.9億	7.5%	6.2億	5.0%	5.5億	4.3%	-0.7億	-11.9%

- ・ 2025年3月期1Qは、増収減益となりました。
増収の主な要因は、CRO事業の業績が堅調に推移したことです。
- ・ 今年4月に派遣スタッフの待遇改善を行った影響により、総利益率は若干低下しましたが、販管費率も抑制した結果、営業利益率、経常利益率は昨年と同水準になりました。
- ・ 純利益が大きく減少している要因は、法人税等の一時的な影響です。

1Q業績		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2024年3月期-2025年3月期	
		金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
人材	売上高	102.7億	-	107.7億	-	109.0億	-	1.2億	1.2%
	セグメント利益	13.9億	13.6%	11.2億	10.5%	10.2億	9.4%	-1.0億	-8.9%
CRO	売上高	15.8億	-	16.9億	-	19.8億	-	2.9億	17.7%
	セグメント利益	1.7億	11.3%	2.8億	17.0%	4.1億	21.0%	1.2億	45.0%

<人材>

売上は微増、セグメント利益は減益となりました。

減益の主な要因は、4月に派遣スタッフの報酬アップを行ったことです。

<CRO>

国内および海外のいずれにおいても、受注が堅調に推移し、増収増益となりました。

人材事業

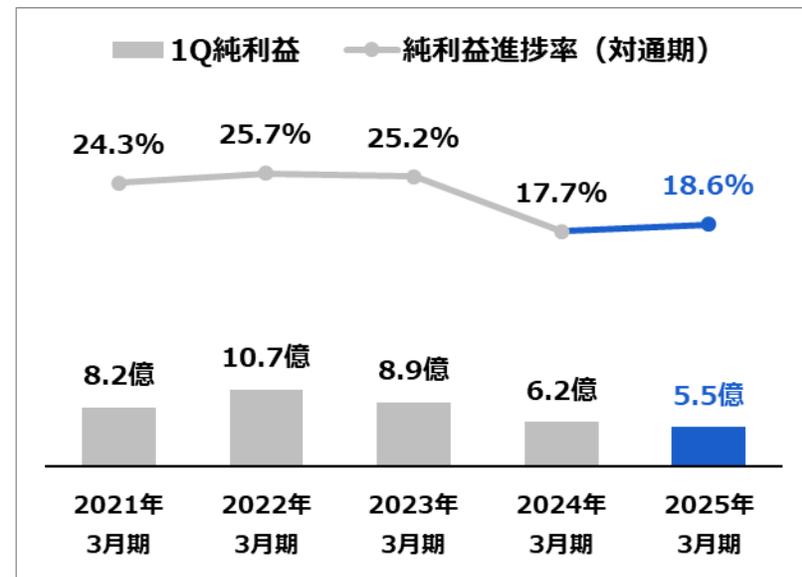
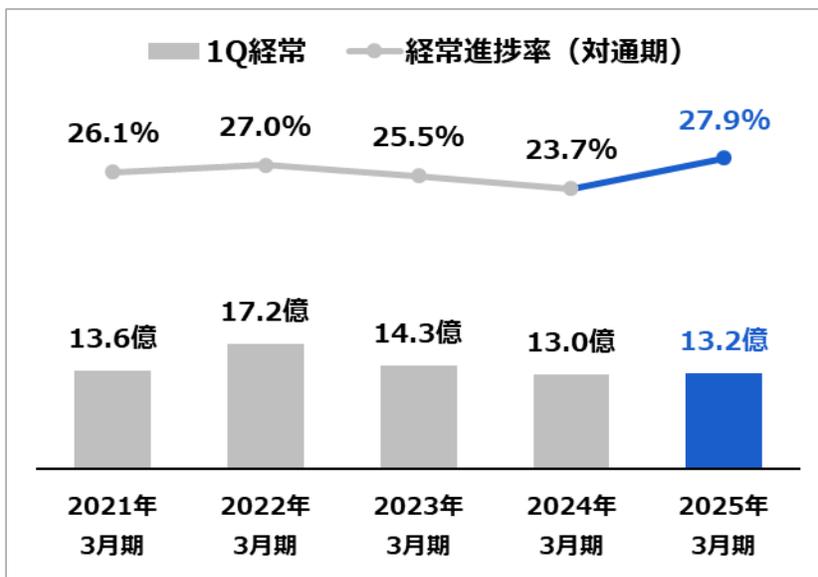
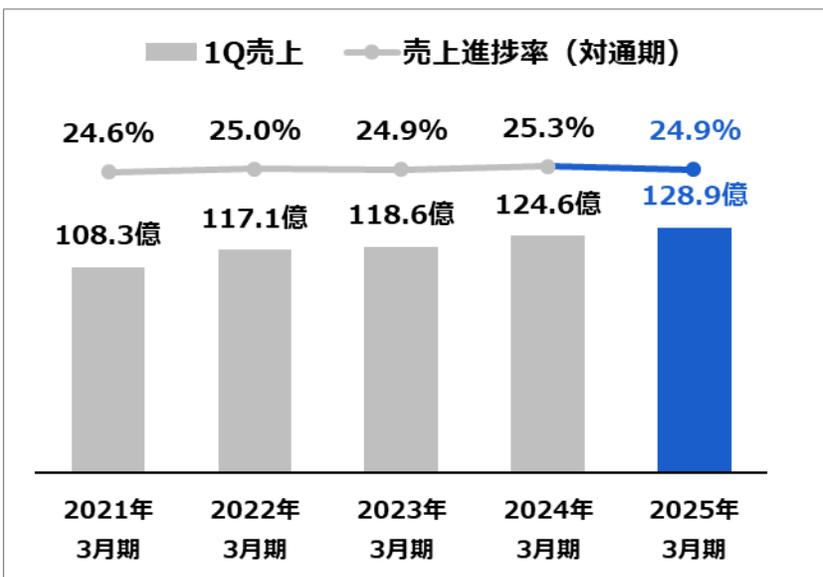
- ・ 中長期経営計画に基づいた取り組みとして、4月に派遣社員の報酬を、平均5.6%引き上げました。
- ・ 東京と神戸のサポートデスクに業務をさらに集約し、オンラインでの営業活動を主体とすることで、業務を効率化する体制を整えました。

CRO事業

- ・ 国内、海外ともに業績が堅調に推移し、増収増益となりました。
- ・ WDBココでは、採用強化のために報酬のアップを行いました。
また、メドファイルズでは、採算性の高い事業への経営資源集中に取り組みました。

	2023年3月期 実績			2024年3月期 実績			2025年3月期 通期見通し		
	金額	売上比	対前年増減率	金額	売上比	対前年増減率	金額	売上比	対前年増減率
売上高	476.0億	100.0%	1.5%	492.9億	100.0%	3.6%	518.0億	100.0%	5.1%
売上総利益	119.3億	25.1%	-4.5%	118.8億	24.1%	-0.4%	116.0億	22.4%	-2.4%
販売管理費	64.2億	13.5%	4.0%	64.2億	13.0%	-0.1%	68.5億	13.2%	6.7%
営業利益	55.0億	11.6%	-12.8%	54.6億	11.1%	-0.7%	47.5億	9.2%	-13.1%
経常利益	56.1億	11.8%	-12.2%	55.0億	11.2%	-1.9%	47.7億	9.2%	-13.4%
当期純利益	35.4億	7.4%	-15.1%	35.4億	7.2%	0.2%	29.7億	5.7%	-16.3%

- ・ 2024年5月に発表した通期見通しに、変更はありません。



- ・ 売上の進捗率は、例年通りの状況です。
- ・ 経常利益は、例年と比べ、高い進捗率となっています。
- ・ 純利益の進捗率が低い理由は、法人税等の一時的な影響です。

- ・ 2022年5月に公開した中長期経営計画について、2年間の取り組みの結果、および世の中の情勢を踏まえ、内容についての見直しを行いました。
- ・ 詳細は、2024年5月14日に開示いたしました、「中長期経営計画 2024」をご確認下さい。

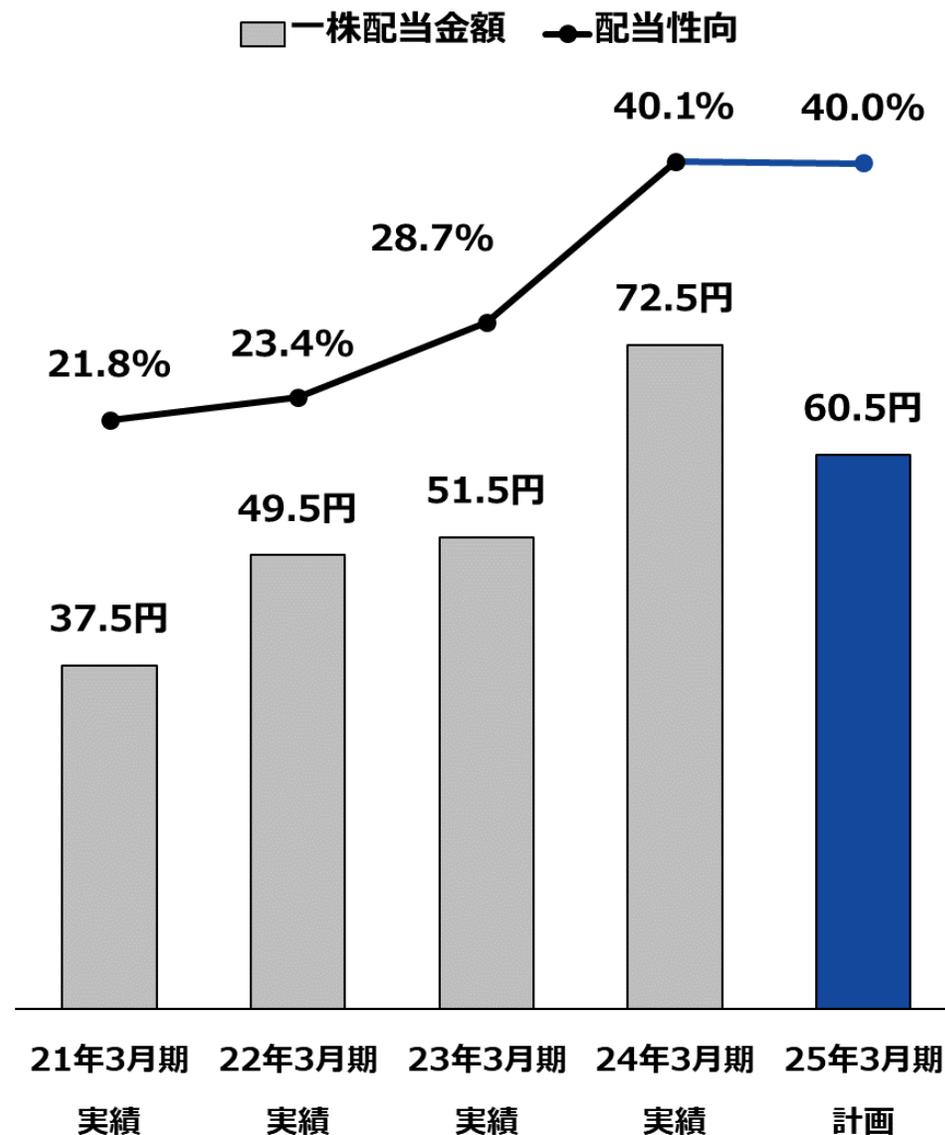
<https://www.wdbhd.co.jp/assets/pdf/ir/about/management-policy240514.pdf>

当社は、2006年の上場以来、配当性向30%を目指し、増配を続けてまいりました。

また、2024年3月期には、配当性向の基準を40%とし、増配を継続いたしました。

一方、2025年3月期については、中長期経営計画に基づき、派遣社員の報酬を大幅に高めた影響から、一時的に減益となるため、配当性向40%は維持するものの、やむなく減配となる見通しです。

中長期経営計画を実現し、再び増配を継続できるよう、努めてまいりますのでご理解ください。



本資料は、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載された予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

<お問い合わせ先>

WDBホールディングス株式会社 経営企画部

<https://www.wdb-g.com/system/wdbhd/contact/index.html>